



平成 30 年 10 月 12 日  
内閣府（防災担当）

## 「防災推進国民大会2018」の開催について

防災推進国民大会 2018 では、「防災」についての様々なノウハウや知識を、楽しく“考える、体験する”みんなのイベント「ぼうさいこくたい2018」を下記の通り開催いたします。また、同日そなエリアにおいて東京都主催の「防災展 2018」が同時開催されます。今回、両イベントのより詳細な当日配布用のプログラム（別紙1）を御案内いたします。

### 記

1. 日 時：平成30年10月13日（土）10時00分 ～ 18時00分 ※屋外展示は16時終了  
平成30年10月14日（日）10時00分 ～ 16時00分
2. 場 所：東京ビッグサイト（東京都江東区有明三丁目11番1号）  
そなエリア<東京臨海広域防災公園>（東京都江東区有明三丁目8番35号）
3. 内 容：
  - （1）オープニングセッション（10月13日（土）10時00分 ～ 12時00分）
    - ① 開会宣言、主催者挨拶及び開催都市挨拶（10時00分 ～ 10時15分）  
山本 順三 内閣府特命担当大臣（防災）  
秋本 敏文 防災推進国民会議副議長（日本消防協会会長/日本防火・防災協会会長）  
小池 百合子 東京都知事
    - ② ハイレベル・パネルディスカッション（10時15分 ～ 12時00分）  
テーマ：「みんなの連携の輪を地域で強くする」
  - （2）クロージングセッション（10月14日（日） 14時00分 ～ 15時30分）
  - （3）その他地区防災計画、国際防災の日、首都直下地震等に関する35のセッション、45のブース展示、18のポスターセッション、ワークショップ、屋外展示等  
※国際会議場で行われるセッションでは、手話や同時通訳を一部取り入れております。

本件問合せ先：内閣府政策統括官（防災担当）付 参事官（普及啓発・連携担当）付  
長田・鈴木・馬場 TEL：03-3502-6984 FAX：03-3581-7510

プログラム

大規模災害に備える

# ぼうさい こくたい - 2018 -

みんなの連携の輪を地域で強くする

同時開催：  
東京都  
「防災展」



そなエリア  
ヘリポート

屋外展示

東京都  
「防災展」

東京ビッグサイト  
会議棟7階8階

セッション・プレゼンブース・  
ポスターセッション

そなエリア  
本部棟

プレゼンブース・  
ポスターセッション

無料  
シャトルバス  
[入口駐車場]

そなエリア  
エントランス

テントブース

無料  
シャトルバス  
[1Fバス  
ターミナル]

約15分  
間隔で運行

開催期間中  
無料シャトルバス運行中!

東京ビッグサイト

そなエリア

10/13 土

10/14 日

ビッグサイト発	そなエリア発	ビッグサイト発	そなエリア発
11:00	11:00	11:00	11:00
11:30	11:30	11:30	11:30
12:00	12:00	12:00	12:00
休憩	休憩	休憩	休憩
13:15	13:15	13:15	13:15
13:45	13:45	13:45	13:45
14:15	14:15	14:15	14:15
14:45	14:45	14:45	14:45
15:15	15:15	15:15	15:15
15:45	15:45		
16:15	16:15		
16:45	16:45		
17:15	17:15		

2018/

10/13 土 10:00~18:00 • 14 日 10:00~16:00

主催:防災推進国民大会2018実行委員会 (内閣府・防災推進協議会・防災推進国民会議)  
共催:国営東京臨海広域防災公園

<http://bosai-kokutai.jp/>



24

ぼうさいこくたい

検索

10月13日 土 10:00~12:00

## オープニングセッション

主催:実行委員会

オープニングでは、大会の開会に当たり、主催者代表及び各分野を代表する論者から、大会への期待や議論の方向性をお話いただきます。昨今発生した様々な災害の教訓を踏まえ、南海トラフ地震や首都直下地震など広域大規模災害では産官学連携したオールジャパンでの対応が不可欠であり、事前の段階から十分な連携・協働体制の構築が必要であること、また、こうした体制構築に向けた論点や課題について議論します。

## 開会宣言

10:00~10:05

内閣府防災担当大臣(予定)

## 主催挨拶

10:05~10:10

秋本 敏文 防災推進国民会議 副議長  
公益財団法人 日本消防協会 会長  
一般財団法人 日本防火・防災協会 会長

## 開催都市挨拶

10:10~10:15

小池 百合子 東京都知事

## ハイレベル・パネルディスカッション「みんなの連携の輪を地域で強くする」

10:15~12:00

ファシリテーター 田中 淳 東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター センター長・教授

パネリスト 新原 芳明 呉市長  
山田 隆持 東京商工会議所 災害対策委員長  
(株)NTTドコモ シニアアドバイザー  
渋谷 篤男 社会福祉法人 中央共同募金会 常務理事  
石渡 廣一 UR都市機構 副理事長  
松本 浩司 NHK解説委員  
海堀 安喜 内閣府政策統括官(防災担当)

10月14日 日 12:00~13:30

セッション

## 東京スペシャル ~首都直下地震に備える~

主催:内閣府、東京都

30年以内に70%の確率でM7級が発生するとされる首都直下地震。政治・行政・経済の中核が高度に集積し人口・建築物が密集する東京が被災し、首都機能が麻痺することによる影響は計り知れません。その時に備えて官民でどのような取組を行っているのか、今後何をすべきか。東京オリンピック・パラリンピックを2年後に控えた今、経済界、学術界、メディア、行政など各層の有識者が様々な角度から議論します。

モデレーター 林 春男 防災科学技術研究所 理事長

パネリスト 平田 直 東京大学 地震研究所  
久保田 啓介 日本経済新聞社 編集委員兼論説委員  
田邊 揮司良 東京都危機管理監  
鎌田 長明 日本青年会議所 会頭

司会 石垣 和子 内閣府政策統括官(防災担当)付  
企画官(普及啓発・連携担当)

10月14日 日 13:45~15:30

## クロージングセッション

主催:実行委員会

クロージングでは、大会の締めくくりとして、大会テーマ「みんなの連携の輪を地域で強くする」に沿った2日間計35セッションから「ぼうさいこくたい2018」の成果発表した上で、大会を振り返り、次回大会に向けた期待を語ります。

### 防災アーティストによるプレクロージング

13:45~14:00

**プレゼンター** Bloom Works  
くまモン くまもとサプライズ特命全権大使

### 「ぼうさいこくたい2018」の成果発表

14:00~14:15

**プレゼンター** 池上 三喜子 市民防災研究所理事

**ディスカッサント** 出展団体代表 (団体名:逃げ地図) 加藤 敦基 明治大学大学院生  
本間 研一 明治大学大学院生  
内田 俊太 明治大学学生  
永山 葵 明治大学学生

### パネルディスカッション

14:15~15:10

**モデレーター** 福和 伸夫 名古屋大学減災連携研究センター長

**パネリスト** 加藤 孝明 東京大学  
生産技術研究所・都市基盤安全工学国際研究センター准教授  
鎌田 久美子 日本看護協会 常任理事  
栗田 暢之 JVOAD代表理事  
堀 乙彦 日本赤十字社 救護・福祉部長  
米田 雅子 防災学術連携体代表幹事  
高橋 輝 仙台市防災環境都市・震災復興室長

### 次回大会会場の発表

15:10~15:20

宇田川 智弘 防災推進協議会委員長 損保協会部長

### 閉会挨拶

15:20~15:30

田邊 揮司良 東京都危機管理監  
米澤 健 内閣府大臣官房審議官(防災担当)



10:00-19:00 日程表 (オープニング, 11:00, 12:00, 13:00, 14:00, 15:00, 16:00, 17:00, 18:00, 19:00)

国際会議場 (会議棟7階) 12:30~14:00
あつてよかった!みんなの地区防
地域・共助 教育 ジェンダー・多様性

国際会議場 (会議棟7階) 14:30~16:00
国際防災の日 記念セッション
~国際的な「協働」を探る~
ボランティア 国際

国際会議場 (会議棟7階) 16:30~19:00
シンポジウム「あなたが知りた
い防災科学の最前線~首都直下地震に備える」
地震・火山 科学・技術

701+702 (会議棟7階) 12:30~14:00
災害からあなたを守る科学技術との対話
科学・技術 防災行政 国際

701+702 (会議棟7階) 14:30~16:00
事業継続普及セミナー
~実効性のある事業継続(BC)に向けて~
地震・火山 防災計画 復旧・復興

701+702 (会議棟7階) 16:30~18:00
多様性のある地域の防災は、何かがい
ジェンダー・多様性 防災行政 地域・共助

703 (会議棟7階) 12:30~14:00
首都直下地震 何が分かって、何が分からないのか。
皆さんの疑問にトコトコお答えします
地震・火山

703 (会議棟7階) 14:30~16:00
専門家によるディスカッション&演芸で「首都直下地震」などへの対策を考えよう!
~防災啓発や防災教育、地震保険などの備えの重要性について~
地震・火山 自 助 地域・共助

703 (会議棟7階) 16:30~18:00
大規模水害から逃げ切る
~大規模・広域避難への対応~
風水害 自 助 地域・共助

801 (会議棟8階) 12:30~14:00
サッカーが防災・震災復興のためにできること
自 助 地域・共助 復旧・復興

801 (会議棟8階) 14:30~16:00
訪日外国人も安心!
災害・防災情報伝達の最新状況
災害情報 地域・共助 国際

801 (会議棟8階) 16:30~18:00
みんなの減災 戦略会議
自 助 地域・共助 教育

802 (会議棟8階) 12:30~14:00
企業における地震直後の
ハザード・リスク情報活用のあり方
災害情報 被災者支援 防災産業

802 (会議棟8階) 14:30~16:00
多様な災害からの逃げ地図づくりを通した
世代間・地域間のリスクコミュニケーションの促進
防災計画 地域・共助 教育

802 (会議棟8階) 16:30~18:00
災害に強いまちづくり~URの取り組み事例から見る、
災害に強いまちづくりの進め方~
地震・火山 都市・建築 復旧・復興

会場

10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00
防災交流フォーラム 「今、防災教育に足りないものは何か ～先駆者たちと未来を考える～」		東京スペシャル ～首都直下地震に備える～		クロージング		
震災記録のポータルサイト ～使ってみよう東日本大震災アーカイブ		被災地の復興支援から 将来のレジリエンス強化に向けて				
災害と保健・医療連携フォーラム ～災害にあっても健康で乗りきる！～		だれひとりとのこさない防災 ～別府市における インクルーシブ防災の実践から～				
全国高校生地域防災 Summit 2018 in 東京ビッグサイト		大地の恵みを知り、地元を愛し、 怖がらせない防災				
気象庁が発表する 防災情報について		大規模災害に向けた ドローンの利用最前線				

## 国際会議場 〈会議棟7階〉

(約1,000名)

国際会議場（会議棟7階） 10:00～11:30

### 防災交流フォーラム「今、防災教育に足りないものは何か～先駆者たちと未来を考える」

**自助** **地域・共助** **教育**

■主催：一般社団法人 防災教育普及協会 ■モデレーター：河田恵昭(関西大学特命教授 人と防災未来センター センター長 ほうさい甲子園選考委員会 委員長) / 林春男(国立研究開発法人 防災科学技術研究所 理事長 防災教育チャレンジプログラム 実行委員長 防災教育普及協会 副会長) ■パネリスト：木村琢哉(兵庫県立大学環境人間学部准教授 防災教育普及協会 理事) / 平田直(東京大学地震研究所 教授 防災教育普及協会 会長) / 齋藤清二(防災学専攻アドバイザー コーディネーター ほうさい甲子園 選考委員会委員) / 健一(鹿児島女子大学観光コミュニティ学部 教授 TEAM防災ジャパン(アドバイザー) / 佐藤公治(南三陸町立津中学校 主幹教諭) / 澤野次郎(一般社団法人 防災教育普及協会 常務理事 災害救援ボランティア推進委員会 委員長) 岡崎浩江 / (株式会社危機管理教育研究所 代表 東京都 女性視点の防災アック編纂 検討委員会 委員) / 中川和之(株式会社時事通社 解説委員 静岡大学防災総合センター-客員教員)

地震、津波、火山、風水害などに備え、防災教育の一層の推進が求められています。しかし学校・組織・地域では、なかなか進みません。そこで防災教育の先駆者から、これまでの活動とともに、今、防災教育に足りないものは何かを話題提供します。そして、問題解決の方法・戦略をディスカッションします。

701+702 (会議棟7階) 10:00～11:30

### 震災記録のポータルサイト～使ってみよう東日本大震災アーカイブ

**地震・火山** **復旧・復興**

■主催：国立国会図書館 ■司会：高品盛也(国立国会図書館 電子情報部 電子情報流通課長) ■モデレーター：柴山明寛(東北大学 災害科学国際研究所 准教授) ■パネリスト：三浦伸也(国立研究開発法人 防災科学技術研究所 総合防災情報センター 自然災害情報室 主幹研究員) / 池上三喜子(公益財団法人 市民防災研究所 理事 特別研究員) / 清水弘明(NHK 知財センター アーカイブス部 副部長) / 伊東敦子(国立国会図書館 電子情報部 主任司書)

過去の事例を知っていたら災害に対応できた、という証言は少なくありません。国立国会図書館東日本大震災アーカイブ(ひなざき)は、国立国会図書館だけでなく連携・協力を国や自治体、企業等、様々な機関の震災の記録等、約380万件を包括的に検索できるポータルサイトです。セッションでは、ひなざきを紹介するほか、特色ある取組を行っている機関から報告を行います。最後に、防災意識の向上をテーマに討論を行います。

12:00～13:30

### 被災地の復興支援から将来のレジリエンス強化に向けて

**自助** **地域・共助** **ボランティア**

■主催：日本赤十字社 ■ファシリテーター：重川希志依(常葉大学 大学院環境防災研究科 教授) ■パネリスト：天野和彦(福島大学 うつくしまくま未来支援センター 特任教授) / 榎井愛子(東洋英和女学院大学 国際社会学部 准教授) / 菅野拓(人と防災未来センター 主任研究員) / 白土直樹(日本赤十字社 事業局 救護-福祉部次長)

災害は、私たちに人的・物的な被害にとどまらず、時として地域コミュニティの破壊という重大な被害をもたらします。このセッションでは、東日本大震災を始めとした過去の災害における復興支援等から得られた教訓を明らかにするとともに、将来の大規模災害に備えるため、私たちは日頃から何に取り組むべきなのかを、各分野のパネリストが地域における「レジリエンスの強化」という視点から議論します。

703 (会議棟7階) 10:00～11:30

### 災害と保健・医療連携フォーラム～災害にあっても健康で乗りきる！～

**地震・火山** **風水害** **医療・福祉**

■主催：東北大学災害科学国際研究所 ■パネリスト：児玉栄一(東北大学教授) / 久保祐子(日本看護協会 課長) / 佐々木宏之(東北大学 助教) / 河島謙(国立病院機構災害医療センター) / 濱館陽子(東京医科歯科大学 博士課程) ■司会：丸谷浩明(東北大学教授)

本フォーラムでは、東日本大震災、熊本地震、各地の風水害などの経験と教訓を踏まえて、保健・医療の面で、専門家、実務者、市民が連携して被災者へいかに支えるかを考えます。そして、心身の健康に考慮した避難生活の過ごし方など、市民の方々にも知っておいて頂きたいことをわかりやすく解説します。医学研究が一つの柱である東北大学災害科学国際研究所が主催し、DMAT隊員、DPAT隊員、看護協会、大学院生なども登壇します。

12:00～13:30

### だれひとりとのこさない防災～別府市におけるインクルーシブ防災の実践から～

**地域・共助** **医療・福祉** **被災者支援**

■主催：日本財団 ■協力：人と防災未来センター ■登壇者：村野淳子(別府市共創戦略室防災危機管理課) / 立木茂雄(同志社大学社会学部) / 川北秀人(IIIHOE [人と組織と地球のための国際研究所])

本プロジェクトチームは日本財団と共同して、防災におけるSDGs(持続可能な開発のための17の目標)実践を別府で3年間行っています。具体的には「だれひとりとのこさない防災」として、平時から支える専門職や地域の皆さんと災害時避難行動・災害時避難生活の個別計画をたて、有事に対応できる力を磨くための取組です。①別府市における実践の報告、②実践で標準化されたパッケージの紹介、③他地域に展開するためポイントを紹介いたします。

801 (会議棟8階) 10:00～11:30

### 全国高校生地域防災 Summit 2018 in 東京ビッグサイト

**地域・共助** **教育** **国際**

■主催：岐阜聖徳学園高等学校 ■司会：本校生徒1(岐阜聖徳学園高校) ■パネリスト：宮城県立多賀城高校生徒 / 押塚先生(千葉県立東金特別支援学校) / 小島先生(東京都立大崎高校) / 東京都立文京高校生徒 / 吉田亮一(YF防災ネット 宮城県) / 以下Skypeでの参加(兵庫県立舞子高校生徒) / (岡山県立真庭高校生徒 他)

岐阜市の普通科、商業科を持つ私立高校です。県の「グローバル人材育成事業」で、地元「長良川」の恵みと、河川氾濫の歴史を学びました。小中学生や地域の方々やDIG.HUGを実施後、より立体的に、現場での避難所運営や避難のシミュレーションをゲーム感覚で行いました。今回のSummitで、全国の地域防災に関わる高校生たちと議論を深め、「高校生が地域に対し何が出来るか」という命題に迫りたいと思います。

12:00～13:30

### 大地の恵みを知り、地元を愛し、怖がらせない防災

**地震・火山** **風水害** **教育**

■主催：日本ジオパークネットワーク ■パネリスト：中川和之(日本ジオパーク委員会調査運営部会員 時事通信社解説委員) / 加藤孝明(東京大学生産研究所) / 杉本伸一(三陸ジオパーク ジオパークコーディネーター) / 佐藤公(磐梯山噴火記念館 館長) / そのほか、各地のジオパークからの事例報告

ジオパークは、地球科学的価値のある地質遺産を大切に、教育や防災だけでなく、科学的根拠を持って観光にも活用し、地域の持続可能性を高める活動を行っています。絶景はたいへん過去の激しい自然現象の痕跡。時に災いをもたらす大地の恵みが人々の日常には恩恵をもたらします。【危ない、怖い】だけの防災ではなく、地元を愛し、怖がらせない防災。初回の「津波災害特別警戒区域」を指定した伊豆・土肥地区など各地の取り組み例から、地域防災活動に役立つ事例を共有します。

802 (会議棟8階) 10:00～11:30

### 気象庁が発表する防災情報について

**災害情報** **地域・共助** **教育**

■主催：気象庁 ■司会：吉田友香(気象庁 総務部 総務課 広報室 広報係員) ■東田進也(気象庁 総務部 企画課 防災企画室長) / 岡田憲治(気象庁 予報部 予報課 技術専門官) / 古謝植之(気象庁 地震火山部 地震津波監視課 強震解析係長) / 井智史(気象庁 地震火山部 火山課 火山防災情報調整室 噴火予知調整係長)

気象庁が発表する気象、長周期地震動、火山に関する防災情報についてご紹介します。

12:00～13:30

### 大規模災害に向けたドローンの利用最前線

**科学・技術** **災害情報**

■主催：日本ドローンコンソーシアム ■司会：伊東明彦((一社)日本ドローンコンソーシアム) ■パネリスト：野波健蔵((一社)日本ドローンコンソーシアム) / 富井隆春((株)アミューズワンセルフ) / 佐藤晴((株)エネルギー コミュニケーションズ) / 岩崎晃(東京大学先端科学技術研究センター) / 酒井直樹(防災科学技術研究所)

(一社)日本ドローンコンソーシアム(略称:JDC)は、ドローンに係る研究開発、社会実装、産業成長・普及促進に寄与することを目的に設立したコミュニティです。JDCでは、防災・災害把握に係る企業・研究者が集まり、防災部会を発足し、活動しています。本セッションでは、地域防災でのドローン利用促進のため、防災・災害把握を目的とした機体開発、各機関における取組み状況、今後の利用可能性などを紹介させていただきます。

## 701・702 〈会議棟7階〉

(約100名)

## 703 〈会議棟7階〉

(約100名)

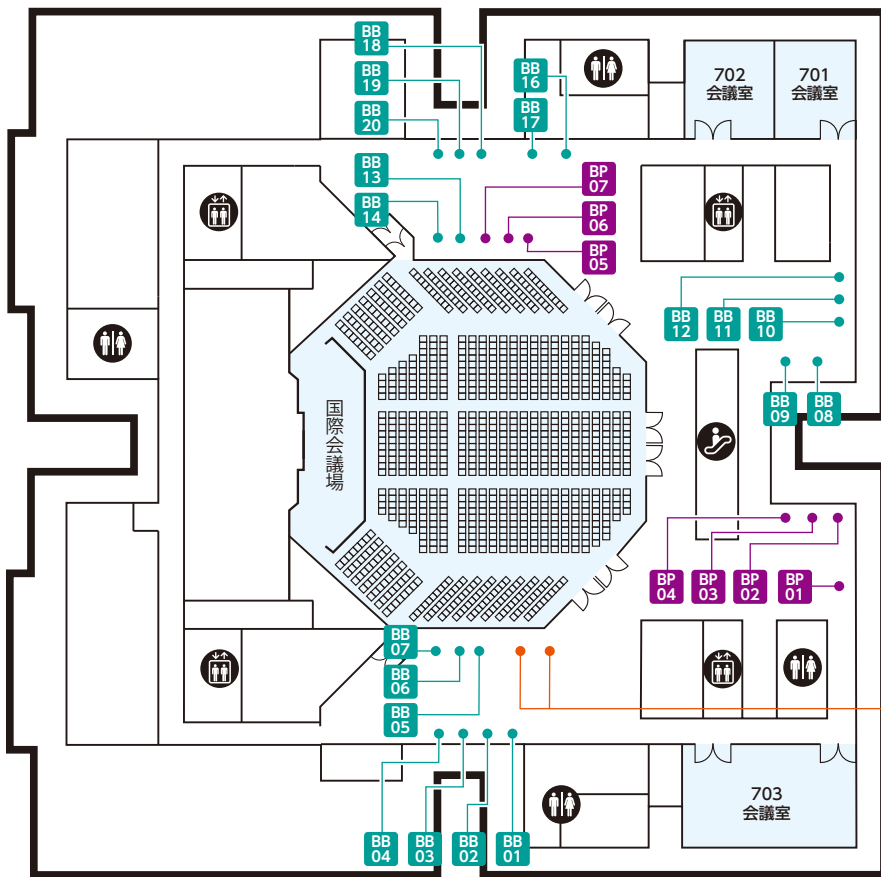
## 801 〈会議棟8階〉

(約40名)

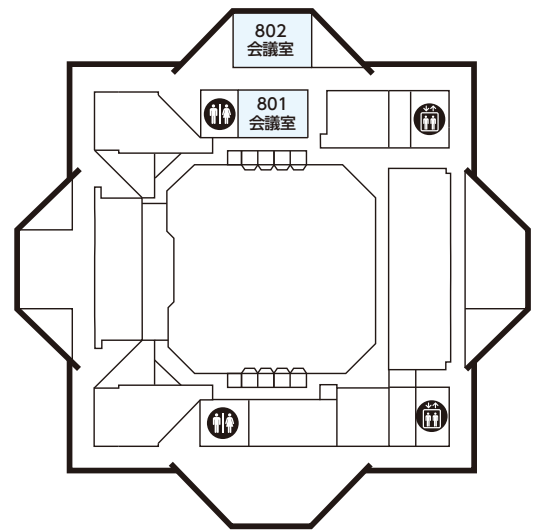
## 802 〈会議棟8階〉

(約55名)

会議棟7階



会議棟8階



サンプリングブース

ノンアルコール・アトピー肌用化粧品から生まれた  
ウエットティッシュ(化粧品類)!

■エビスタ コーポレーション/株式会社プリント

便利な防災用品のご紹介。ノンアルコールで脂汚れが落ち、消臭・保湿・感染予防対策・静電気防止・口腔ケアが出来ます。全身拭けて、メイク落としとしてもOK。汚れやニオイ、デリケートゾーンのケアも。敏感肌用ウエットティッシュ(化粧品類)としてご使用頂けます。

グリコの長期保存食

■江崎グリコ株式会社

万が一の備えとしてグリコは普段食べなれた食品を利用するシーンにあわせて2つの長期保存食にしました。初動対応としてロングセラー「ビスコ」の保存食、BCPやその後の食事としてトルトカレーの「常備用カレー職人」。備蓄食料は利用するシーンを想定し、必ず試食したうえで選ぶようにしましょう。

防災グッズが  
もらえるよ!

プレゼンブース  
プログラム

(7Fロビー)

BB 01 Global Efforts on Disaster Risk Reduction  
-防災に関するグローバルな取り組み-

防災計画 国際  
■国連国際防災戦略事務局 (UNISDR)

国連の防災担当部局として2000年に発足しました。自然災害による被害・損失の減少、災害リスクの軽減を目指し、国際防災協力の枠組み構築、調整のための触媒的役割を果たしています。仙台防災枠組の実施推進など、多くのパートナー機関と共に各国の防災政策実施を支援しているUNISDRのグローバルな取り組みについて紹介します。◇ウェブサイト: [www.unisdr.org](http://www.unisdr.org)

BB 01 「Build Back Better(より良い復興)」に関する  
経験と教訓を発信

復旧・復興 国際  
■国際復興支援プラットフォーム (IRP)

大規模災害からの「Build Back Better(より良い復興)」を促進するための国際的な協力の枠組として2005年5月に設立(日本政府を含む17の政府、国連機関等で構成)。復興支援ツールの開発やフォーラムの開催など、復興に関する知識の集積と情報発信をはじめとする国際社会における防災の取組を紹介いたします。◇ウェブサイト: [www.recoveryplatform.org](http://www.recoveryplatform.org)

BB 02 災害情報の配信を支えるアラート

災害情報 地域・共助 防災行政

■総務省  
アラートとは、地方自治体や通信・電気・ガス等のライフライン事業者からの災害情報を、多様なメディアを通じて、住民の皆様迅速かつ効果的に伝達する共通基盤です。アラートの概要や特徴、また、アラートに関する総務省の取組について、ポスターや動画などを用いて分かりやすく紹介します。

BB 03 SIP「レジリエントな防災・減災機能の強化」

地震・火山 風水害 災害情報

■内閣府、科学技術振興機構(JST)  
内閣府の戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)「レジリエントな防災・減災機能の強化」において開発された成果について、災害関連データを府省連携して「収集」「分析」する防災情報共有システム[SIP4D]を中心に紹介します。

BB 04 防災科研の取り組み

地震・火山 科学・技術 災害情報

■国立研究開発法人 防災科学技術研究所  
国立研究開発法人防災科学技術研究所(防災科研)は、防災科学技術に関する基礎研究及び基盤的研究開発、それらに係る成果の普及及び活用の促進等の業務を総合的に、防災科学技術の水準の向上を図り、成果の防災対策への反映を図ることにより、「災害から人命を守り、災害の教訓を活かして発展を続ける災害に強い社会の実現を目指すこと」を目標としています。

BB 05 地震本部とは?!

地震・火山 科学・技術 防災行政

■地震調査研究推進本部/文部科学省  
地震調査研究推進本部(地震本部)とは、平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災の経験を活かし、地震に関する調査研究の成果を社会に伝え、政府として一元的に推進するために作られた組織です。地震防災対策の強化、特に地震による被害の軽減に資する地震調査研究の推進を基本的な目標として活動を行っています。地震本部の活動や公表している成果を、ポスターなどでわかりやすく説明します。

恐るべし!愛知・名古屋  
BB 06 ~強化共創センターの取り組みと  
巨大地図を使ったワークショップの紹介~

地震・火山 災害情報 防災計画

■あいち・なごや強化共創センター  
当センターは、愛知県、名古屋市、名古屋大学が連携し、産業界の協力を得て、大規模災害から社会・経済を守るための調査研究や、事業を推進しています。こちらのブースでは、巨大な地図とプロジェクトマップを組み合わせ、[巨大地震のときに起こる事態の可視化]ワークショップについて紹介し、そのミニチュアを展示します。また、当センターの啓発事業で用いているパネルや教材を掲示します。

応援します!!東北!陸前高田市!  
BB 07 ~名古屋市行政丸ごと支援・市民交流~

復旧・復興 防災行政

■名古屋市防災危機管理局  
「行政丸ごと支援」とは、東日本大震災で甚大な被害を受けた岩手県陸前高田市の行政全般を、名古屋市の持つ総合力によって「丸ごと支援」する、発災直後から今日に至るまで続けている全国発の取り組みです。被災地の復旧・復興の状況に併せて、刻々と変化する被災地ニーズに対応して業務に精通した職員を派遣したり、両市の子どもの交流や産業支援を実施するなど、陸前高田市の復興を総合的に支援しています。

<p><b>BB 08</b> <b>あなたが知りたい防災科学の最前線</b> —首都直下地震に備える(その1)—</p> <p>地震・火山 科学・技術 風水害</p> <p>■防災学術連携体、日本学術会議</p> <p>近年首都直下地震の発生が危惧されている中、地域の防災力の強化に科学を役立てるため、日本学術会議や防災学術連携体(56学会)の防災に関する活動を市民の皆様へ知っていただくとともに、防災に関わる情報をわかりやすく提供します。(その1)のブースでは、主にハード面で、(その2)のブースでは主にソフト面での防災に関する情報を発信します。別途実施予定のセッション(10月13日16時30分より国際会議場にて開催)と連携して、防災に関わる正しい情報を伝え、市民と科学者の相互理解を図ります。</p>	<p><b>BB 09</b> <b>あなたが知りたい防災科学の最前線</b> —首都直下地震に備える(その2)—</p> <p>科学・技術 災害情報</p> <p>■国立研究開発法人情報通信研究機構 耐災害ICT研究センター</p> <p>東日本大震災の教訓として、情報通信ネットワークは重要な社会インフラであり、そのレジリエント性を確保することが極めて重要であると認識され、当センターは「耐災害ICT研究」を実施する研究拠点として被災地である山台市に開設されました。今回は地方公共団体が実施する防災訓練等においても活用されている大規模災害時の被災状況把握システムや災害に強いネットワークシステムに関する研究開発成果等について紹介します。</p>	<p><b>BB 10</b> <b>多言語対応音声ガイド</b> —ジュニア学芸員による防災教育活動—</p> <p>自助 地域・共助 教育</p> <p>■株式会社CO3</p> <p>スマートフォンを利用した多言語対応の音声ガイドプラットフォームを提供しております。防災施設や設備の説明を、来訪者のスマートフォンに対して、多言語でテキストのみならず音声にてガイドすることで、より理解を深める事に活用いただいております。教育の一環としての取組み(ジュニア学芸員)を行っております。児童・生徒が、防災施設などで、感じたこと学習したことを、自らの力で施設ガイドとしてまとめ、達成感を感じてもらい、自分のみならず、より多くの人に「防災」への興味・関心を持ってもらう事を目的に取り組んでおります。</p>
<p><b>BB 11</b> <b>防災・災害分野へのドローンの利用事例紹介</b></p> <p>科学・技術 災害情報</p> <p>■(一社)日本ドローンコンソーシアム</p> <p>(一社)日本ドローンコンソーシアム(略称:JDC)は、ドローンに係る研究開発、社会実装、産業成長・普及促進に寄与することを目的に設立したコミュニティです。JDCでは、防災・災害把握に係る企業・研究者が集まり、防災部会を発足し、災害時の情報収集や防災訓練へのドローン利用等、防災・災害把握へのドローン利用の推進に繋がる活動を行っています。展示ブースでは、これらの活動の状況を紹介させていただきます。</p>	<p><b>BB 12</b> <b>災害に強い情報通信技術の構築に向けて</b></p> <p>科学・技術 災害情報</p> <p>■(一社)日本リモートセンシング学会</p> <p>(一社)日本リモートセンシング学会は、リモートセンシングに関する研究の連絡・提携を図り、学問および技術の発展、普及に寄与することを目的に活動しています。近年の大規模災害時における状況把握に、リモートセンシングの技術が注目されており、衛星・ドローンを利用した多くの事例が蓄積されつつあります。本展示ブースでは、学会での取組み状況や大規模災害におけるリモートセンシングの利用事例を紹介させていただきます。</p>	<p><b>BB 13</b> <b>産学連携による防災・減災に関する研究活動・社会貢献</b></p> <p>地震・火山 風水害 教育</p> <p>■東北大学災害科学国際研究所 地震津波リスク評価(東京海上日動)寄附研究部門</p> <p>2012年4月、東北大学災害科学国際研究所に「地震津波リスク評価(東京海上日動)寄附研究部門」が開設されました。当部門では、東日本大震災の被害実態やこれまでの巨大地震における津波(波高や到達時間)を評価し、国内外における社会での脆弱性や防災力を考慮した被害推定手法を研究しています。また、防災・減災に関するセミナー開催や防災教育ツールの開発等を通じて、得られた知見を広く社会に提供してきております。</p>
<p><b>BB 14</b> <b>命を守る防災教育、TEC-FORCEの取組</b></p> <p>風水害 教育 復旧・復興</p> <p>■国土交通省 防災課</p> <p>国土交通省では、社会資本の整備や管理等を通じて様々な防災関係の施策を展開しています。今回はその中でも、防災教育の支援として防災カードゲーム及び水害から身を守るためのポイントを学ぶことができる動画の紹介や災害時に活躍する国土交通省照明車のミニカーの展示、大規模な災害発生時に迅速に地方公共団体等への支援を行うTEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)の取組紹介などを行います。</p>	<p><b>BB 16</b> <b>防災・災害把握へのリモートセンシングの取組み</b></p> <p>科学・技術 災害情報 環境・持続可能性</p> <p>■(一社)日本リモートセンシング学会</p> <p>(一社)日本リモートセンシング学会は、リモートセンシングに関する研究の連絡・提携を図り、学問および技術の発展、普及に寄与することを目的に活動しています。近年の大規模災害時における状況把握に、リモートセンシングの技術が注目されており、衛星・ドローンを利用した多くの事例が蓄積されつつあります。本展示ブースでは、学会での取組み状況や大規模災害におけるリモートセンシングの利用事例を紹介させていただきます。</p>	<p><b>BB 17</b> <b>つくる!なおす!まもる!</b> —地域建設業の取組み—</p> <p>地域・共助 復旧・復興</p> <p>■一般社団法人 全国建設業協会</p> <p>地震や台風、大雪や竜巻など予期せぬ災害が発生したとき、真っ先に災害現場に駆けつけ、被害を最小限に抑えるため、応急復旧を行っている…そんな地域建設業の活動状況をパネルで紹介いたします。また、建設のしごとを知ってもらうための子ども向けパンフレット「建設学習帳」の配布等も行います。</p>
<p><b>BB 18</b> <b>ペットの災害対策</b></p> <p>地震・火山 自助 被災者支援</p> <p>■一般財団法人 ペット災害対策推進協会</p> <p>阪神淡路大震災の際に現地動物救護本部が行った活動に対して後方支援を行った団体から構成された緊急災害時動物救護本部の活動を引き継ぎ、災害発生時における現地の動物救護本部が行う動物救護活動の後方支援を行うのみならず、平常時における災害時に備えた次の活動を行っています。1 平常時から災害に備える大切さの普及・啓発 2 救護ボランティアの育成・研修 3 物資支援体制の構築 4 現地動物救護本部の設置支援</p>	<p><b>BB 19</b> <b>人とペットの災害対策</b></p> <p>防災計画 自助 被災者支援</p> <p>■環境省 動物愛護管理室</p> <p>動物愛護管理室では、平成25年に「災害時におけるペットの救護対策ガイドライン」を自治体に配布しましたが、平成28年の熊本地震への対応等を検証し、内容と構成を変えた改訂版を「人とペットの災害対策ガイドライン」として平成30年に発効し送付しました。9月の動物愛護週間ではペットの飼い主さん向けの冊子も提示する予定ですが、ブースでは防災に関する質問等を受け、人とペットの災害対策を啓発・普及します。</p>	<p><b>BB 20</b> <b>防災のための第一歩</b> —子どものうちから身につけたい地球の知識—</p> <p>地震・火山 科学・技術 教育</p> <p>■日本地質学会</p> <p>一般社団法人日本地質学会では、WEB教材「ボクたちの足もとから地球のことを知る」〜地層と地形が教えてくれるボクたちのルーツとミライ〜をつくりました。災害から身を守るには、まずは地球のことをよく知っていることが重要です。このブースでは、このWEB教材を体験しながら研究者とコミュニケーションを図り、防災の基礎知識である地質に関して興味を持って頂ければと思います。</p>

**ポスターセッション**  
**プログラム**  
(7Fロビー)

**BP 03** **「攻め」の防災に向けた気象災害の能動的軽減を実現するイノベーションハブ**

風水害 災害情報 防災産業

■国立研究開発法人防災科学技術研究所 気象災害軽減イノベーションセンター

気象災害軽減イノベーションセンターは、人材、情報、技術を糾合し、成果の社会実装をめざした「攻め」の防災に向けた気象災害の能動的軽減を実現するイノベーションハブの構築に取り組んでいます。気象災害の早期予測技術をコアとして、次世代センシング技術、IoT情報技術等を取り入れ、コンソーシアム等を通じたステークホルダーとの連携により、地域特性・利用者ニーズに応じた予測情報システムの社会実装を実現します。

**BP 01** **第33回防災ポスターコンクール受賞作品**

教育

■防災推進協議会

内閣府、防災推進協議会では、防災意識のより一層の高揚を図るため、防災に関するポスターデザインを広く一般から公募を行う「防災ポスターコンクール」を実施しております。昨年度行ったコンクールにおいて、入賞した作品を展示します。

**BP 02** **「ハザード・リスク実験コンソーシアム」の紹介**

地震・火山 科学・技術 災害情報

■リアルタイム地震・防災情報利用協議会(REIC)

当協議会が設立した「ハザード・リスク実験コンソーシアム」は、内閣府の「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)」のうち、「レジリエントな防災・減災機能の強化」において国立研究開発法人防災科学技術研究所により研究開発が進められている「リアルタイム地震被害推定」の研究成果の、民間利活用に向けた取組みとして発足したものです。このコンソーシアムにおける実験内容と、実用化に向けた取組みをご紹介します。

**BP 04** **日本地球惑星科学連合(JpGU)の活動**

地震・火山 風水害 科学・技術

■日本地球惑星科学連合(JpGU)

日本地球惑星科学連合(JpGU)は地球惑星科学と関連分野にかかわる研究者、学生、市民の方々、関連の50学会からなる学術団体です。今回は日本地球惑星科学連合の活動、毎年5月に開催する連合大会での災害対応関連セッション、環境災害対応委員会の活動についてポスターでご紹介いたします。

**BP 05** **東日本大震災アーカイブ(ひなぎく)**

地震・火山 復旧・復興

■国立国会図書館

ひなぎくは、東日本大震災に関連する記録等を包括的に検索できるポータルサイトです。震災の記録等を次の世代へ伝え、今後の防災・減災対策に役立てることを目的としています。様々な機関と連携・協力して、震災の記録等の収集・保存・提供を行っています。ひなぎくで検索できる震災の記録等は、約380万件です。ひなぎくのパンフレットやひなぎくを活用した防災学習のチラシなどを配布します。

**BP 06** **建設会社の防災活動**

インフラ 教育 復旧・復興

■一般社団法人 日本建設業連合会

近年頻発する豪雨災害、近いうちに発生が想定される大規模地震災害等に対し、建設業界としてどう対応してきたか、またどう備えるかについて、パネル等を用いて紹介します。また、建設防災トレーニングカードの配布を通して、みなさまに防災に関する基礎的知識を紹介させていただきます。

**BP 07** **防災体験が無料でできる公園です**

■東京臨海広域防災公園

東京臨海防災公園は、広大な芝生広場やヘリポートがあり、防災訓練や様々なイベントが実施され、防災を身近に感じながら、楽しく防災を学ぶ事ができる公園です。しかし首都圏で大きな災害が起きた時は、「緊急災害現地対策本部」が設置され、広域的な司令機能を受け持つ場所となり、避難場所にはならない公園です。園内には、172h、君は生き残れるか」をテーマに、無料で防災体験ができる「そなエリア東京」があります。

30

6



10月13日 土

セッション

実行委員回主催

内閣府担当主催

関係団体主催

Timeline for the session from 10:00 to 19:00, showing topics like 'グリーンレジリエンスを考える:SDGs11' and '災害復興と 土業・専門家の果たすべき役割・連携'.

12:30~14:00 グリーンレジリエンスを考える:SDGs11「住み続けられるまちづくりを」~自然の恵みを防災・地方創生に~

14:30~16:00 災害復興と土業・専門家の果たすべき役割・連携

16:30~18:00 災害医療対策から見た「レジリエンス」の強化

12:30~14:00 東北太平洋沿岸等の観光復興へ向けた取組みと現地で学べる防災観光、学びの旅

14:30~16:00 災害情報の配信を支えるアラート

16:30~18:00 見せませ!「情報共有会議」・災害支援のコーディネーション

10月13日 土

ワークショップ

実行委員回主催

内閣府担当主催

関係団体主催

Timeline for the workshop from 10:00 to 19:00, featuring 'TEAM防災ジャパンオンラインミーティング' and '防災ゲームDay in ぼうさいこくたい'.

食堂 (本部棟2階) 12:30~18:00 TEAM防災ジャパンオンラインミーティング 全国大会 in ぼうさいこくたい

ワークショップテント1(エントランス) 12:30~14:30 防災ジャンダプロジェクト 防災ワークショップ

15:00~17:00 防災ゲームDay in ぼうさいこくたい

ワークショップテント2(エントランス) 12:30~14:30 たのしく学ぼう!災害とわたしたちができること

15:00~17:00 みんなで作ろう! 段ボールジオラマ ワークショップ

# 10月14日 (日) セッション

会場
レクチャールーム2~3 (本部棟2階)
会議室 (本部棟1階)

10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00
	災害時のトイレの確保・管理		生協を利用して 家庭で手軽にできる防災力アップ!			
		将来の地域防災の担い手育成	SDGsの達成に 国際防災ビジネスを通じて貢献しよう			

レクチャールーム 2~3 (本部棟2階)
会議室 (本部棟1階)

レクチャールーム2~3(本部棟2階)	10:00~11:30	12:00~13:30
<b>災害時のトイレの確保・管理</b>		<b>生協を利用して 家庭で手軽にできる防災力アップ!</b>
<p>災害情報 防災計画 防災行政</p> <p>■主催:内閣府 ■パネリスト:加藤篤(特定非営利活動法人 日本トイレ研究所 代表理事) / 菅原えりさ(東京医療保健大学大学院 医療保健学 研究科 教授) / 阪本真由美(兵庫県立大学 減災復興政策研究科 准教授) / 岡崎新太郎(三菱地所レジデンス株式会社 防災倶楽部) / ■コーディネーター:石田耕一(内閣府政策統括官(防災担当)付参事官補佐)</p> <p>災害時におけるトイレの確保・管理は、きわめて重要な課題であり、被災地において自治体の職員の方から、「食事は1~2食抜いても我慢できるが、どんな人でもトイレは我慢できない」という話を伺ったことがあります。災害時でもトイレを使用できることが被災地の衛生対策や被災者の心理ストレス軽減に強い影響を与えることに鑑み、家庭や企業での災害時のトイレ対策の促進や、避難所でのトイレの劣悪な環境の改善に向け、シンポジウムで議論を行います。</p>	<p>自助 地域・共助</p> <p>■主催:日本生活協同組合連合会 ■出展:生活協同組合コープみらい / 生活協同組合パルシステム東京 / 東京都生活協同組合連合会</p> <p>生協を上手に活用して家庭の防災力をアップしましょう!万一の災害に備えた飲料水や食料品の備蓄はされていますか?ペットボトル飲料水や缶詰、レトルト食品などの非常時にも使える品々を、ふだんの生活でも使いながら、使った分だけ買い足しをして、常に新しい商品を備蓄・ストックしておくという「ローリングストック」方法をご存知ですか?生協を利用して手軽にできる家庭での防災備蓄についてみんなで考えてみませんか?</p>	
会議室(本部棟1階)	10:00~11:30	12:00~13:30
<b>将来の地域防災の担い手育成</b>		<b>SDGsの達成に 国際防災ビジネスを通じて貢献しよう</b>
<p>自助 地域・共助 教育</p> <p>■主催:日本消防協会、日本防火・防災協会 ■西藤公司(日本防火・防災協会理事長) / 埼玉県三郷市少年消防クラブ / 千葉県浦安市少年消防団 / 東京都成城消防少年団 / 東京都町田消防少年団 / 神奈川県大和市少年消防団</p> <p>[将来の地域防災の担い手育成]をテーマに子ども達の人材育成の在り方について考える。①少年消防クラブ員による活動事例発表(関東近県から5クラブ)②各クラブの指導者と会場内参加者によるディスカッション</p>	<p>防災産業 国際</p> <p>■主催:日本防災プラットフォーム(JBP) ■西川尚宏(日本防災プラットフォーム代表理事) / インド政府代表者(未定) / 株式会社 エクセルシア / 株式会社 NTTデータ / 株式会社 技研製作所 / 株式会社 構造計画研究所 / 株式会社 チャレンジ/ラジブ・シヨウ(慶応義塾大学 教授) / ハス・パートル(株式会社 アジア航測 海外事業推進部長) / レイレト・エマニエル(名古屋大学 講師)</p> <p>持続可能な開発の実現にはレジリエンスの強化が重要という認識が広まったため、SDGsの多くのゴールに防災・減災が関係し、その国際的な推進には日本企業の貢献が期待されています。このセッションではSDGsと防災・減災の関係を易しく紹介したのちに、日本の防災技術を外国で使うにはどのような問題があるか、またどうすれば外国でも通用するかの、日本に住む様々な外国人の意見を聞きながら考えます。</p>	

# 10月14日 (日) ワークショップ

会場
食堂 (本部棟2階)
ワークショップテント1 (エントランス)
ワークショップテント2 (エントランス)

10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00
		体験型防災アトラクション (東京都防災展)				
			楽しく学ぶ 防災・減災教室 「クロスロードが、多くの気づきをあなたに!」			
	なでしこ危機管理SAT					

ワークショップテント1 (エントランス)
ワークショップテント2 (エントランス)

ワークショップテント1(エントランス)	12:30~14:30
<b>楽しく学ぶ 防災・減災教室 「クロスロードが、多くの気づきをあなたに!」</b>	
自助 地域・共助 教育	
■わしん倶楽部	
阪神淡路大震災後神戸市職員の方々のインタビューをもとに開発された、カードゲーム「クロスロード」を、開発者の一人である慶應義塾大学 吉川肇子教授と共に体験しませんか?「クロスロード」は設問に対しYESorNOの一つが選べない制約を課すため、問題を自分事として考え、多様な意見・情報を日頃から聞くことにより、多くの気づきを得ることが出来ます。是非体験し「気づきの引き出し」をふやしましょう!	
ワークショップテント2(エントランス)	10:00~12:00
<b>なでしこ危機管理SAT</b>	
地震・火山 地域・共助 救急・救助	
■一般財団法人危機管理教育&演習センター	
大規模災害において、消防、医療機関の手が回らない中、地域における緊急対応を自ら支援できるように災害対応能力(知識とスキル)を高める必要があります。日ごろからサポート業務を任されている方々が、いざという時に決着者がいない場合、自らが判断・対応をすることが求められます。また、危機に見舞われ非日常業務が拡大する中、日常業務を継続しなければならない環境下にて、主に女性が活躍できる場について普及啓発します。	

## 食堂

(本部棟2階)



**体験型防災アトラクション**

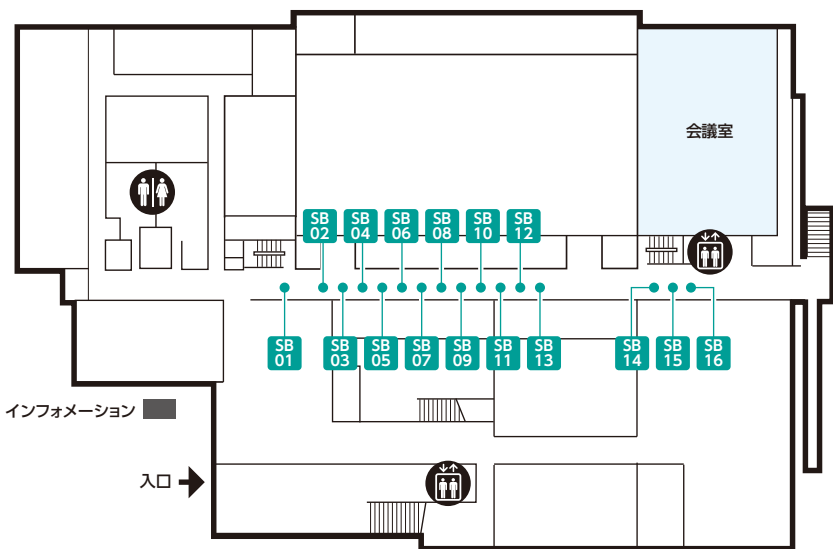
緊迫した状況の中で様々なミッションに挑戦! 脱出ゲームの要素を取り入れた訓練を体験して、災害時に役立つ知識を学ぼう。

実施日時: 14日(日)  
①10:30~②12:00~  
③13:30~④14:55~

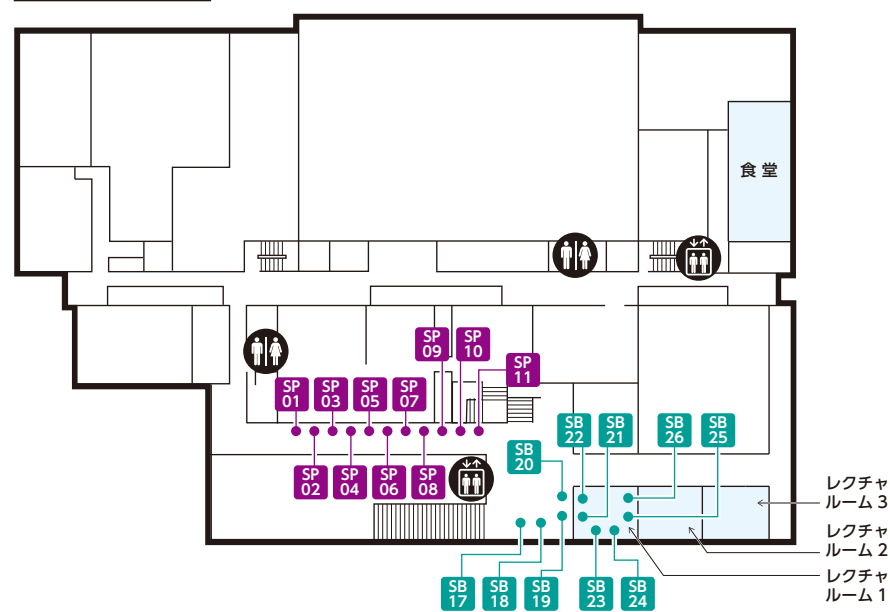


\*事前予約をされた方から優先的にご案内いたします。  
\*当日に参加をご希望される場合は、各回15分前までに、インフォメーションでお申込みください(先着順)。

本部棟1階



本部棟2階



プレゼンブース〈1階廊下〉

SB 01 地震ザブトン×VR

地震・火山 教育

■株式会社構造計画研究所、白山工業株式会社

「地震ザブトン×VR」は、白山工業のロボティクス技術と、構造計画研究所の地震応答解析技術・VR技術のコラボレーションによる、新しい地震動シミュレーターです。専用の椅子に座りVRヘッドセットを装着すると、臨場感のある室内の3D空間が出現し、激しい揺れとともに現実さながらの地震体験ができます。実際の観測データに基づき地震動の再現により、地震災害を「我が事」として考えるきっかけを提供します。

SB 05 「東日本大震災後の被災地での継続支援活動をとおりて他地域・次世代へ伝える～東北学院大学・尚綱学院大学～」

地域・共助 被災者支援 ボランティア

■学部仙台台コンソーシアム 復興大学 災害ボランティアステーション  
学部仙台台コンソーシアム 復興大学 災害ボランティアステーション事業として東北学院大学、尚綱学院大学は、震災直後から各大学の特色を活かしながら、宮城県内の被災地支援を継続して行ってきました。震災から7年、被災地の課題が変化することで学生たちの支援活動や取り組みを紹介します。全国の大学と連携して実施してきた活動や支援の広がり、学生の学びやつながり、防災・減災を担う次世代の育成の取り組みを紹介します。

SB 09 天災時の夜間避難対応型避難誘導標識

地震・火山 災害情報 自助

■NPO 都市環境標識協会

現在、全国の各地方公共団体で設置されている避難標識はその形状・色調等が各自治体で不統一の状況にあり、災害発生時に被災者を避難場所へ適切に誘導する機能を果たしていません。また夜間の避難行動に必要な照明付標識についてはほとんど設置されていません。本展示会では、これらの課題を解決するために必要な全国統一デザインの夜間避難対応型避難誘導標識(各種災害警報・緊急地震速報と連動)を展示します。

SB 13 段ボールジオラマ防災授業

防災計画 地域・共助 教育

■防災ジオラマ推進ネットワーク

組立式のジオラマキットを活用したワークショップ型の防災学習プログラムのご紹介です。自分の住んでいるエリアの地図が印刷された段ボール製のジオラマを組み立て、楽しみながらまちの地形や災害リスクが学べます。防災関連などの様々な情報をマッピングするなど、その後も地域の共有資産として活用いただけます。

プレゼンブース〈2Fロビー〉

SB 17 すべての福祉施設が「福祉防災計画」作成を!

防災計画 地域・共助 医療・福祉

■一般社団法人福祉防災コミュニティ協会

全国各地で、様々な自然災害等が発生しています。災害時、社会福祉施設や事業者は、施設の入居者・利用者や職員の命を守ることはもちろん、利用者への支援を続ける責任を担わなければなりません。災害等に利用者への支援が途切れぬよう、事前の準備が重要です。災害発生直後の応急業務に加え、中断できない業務や早期復旧が必要な業務を円滑に進めるため、必要資源の確保や各種対策を定める福祉防災計画を作成しておきましょう。

ポスターセッション〈2F廊下〉

SP 01 避難所運営と避難のシミュレーションを地域でリアル体験

地域・共助 教育 国際

■岐阜聖徳学園高等学校

岐阜市の普通・商業科を持つ私立高校です。県の「グローバル人材育成事業」で地元「長良川」の恵みと河川氾濫の歴史を学びました。小中学生や地域の方々やDIG、HUGを実施後より立体的に、現場での避難所運営や避難のシミュレーションをゲーム感覚で行いました。今回「全国高校生地域防災Summit」でその実践を紹介します。全国の高校生と議論し「高校生が地域に対し何ができるか」という命題に迫りたいと思います。

SP 05 山地災害への対応

復旧・復興 防災行政

■林野庁治山課

近年、短時間強雨の発生頻度が増加傾向にあり、大規模山地災害の多発化・激甚化に加え、地球温暖化に伴う気候変動により大雨の発生頻度が更に増加するおそれが高いことが指摘されている中で、山地災害の未然防止を含めた林野庁における治山対策の取組を紹介します。

SP 09 日本赤十字社が取り組む防災・減災一赤十字防災セミナーのご紹介

自助 地域・共助 ボランティア

■日本赤十字社

日本赤十字社は、過去の災害から得た教訓を踏まえ、将来の大規模災害から人々のいのちを守るためには、地域コミュニティにおける「自助」と「共助」の力を高める防災教育が極めて重要だと考えています。このポスターセッションでは、日本赤十字社の災害発生時の応急対応、復旧・復興、防災・減災に関する取り組みと、平成29年度から全国で実施している「赤十字防災セミナー」について分かりやすくご紹介します。

プレゼンブース〈レクチャールーム1〉

SB 21 多様な災害からの逃げ地図作成を通じた世代間・地域間の連携促進

防災計画 地域・共助 教育

■子ども安全まちづくりパートナーズ、日建設計ボランティア部  
逃げ地図は、最も近い目標避難地点までの時間を色鉛筆で塗り分けた手づくりの地図です。日建設計ボランティア部が大規模施設の避難計画のノウハウを応用して考案しました。その後、明治大や千葉大の研究室が協働して多様な災害からの逃げ地図づくりワークショップのマニュアルを開発しました。子ども安全まちづくりパートナーズは、それらの研究成果の社会実装機関です。逃げ地図づくりを通じた世代間・地域間の連携の紹介をします。当日は明治大の学生らも応じます。

SB 23 避難所運営と避難のシミュレーションを地域でリアル体験

地域・共助 教育 国際

■岐阜聖徳学園高等学校

岐阜市の普通・商業科を持つ私立高校です。県の「グローバル人材育成事業」で地元「長良川」の恵みと河川氾濫の歴史を学びました。小中学生や地域の方々やDIG、HUGを実施後より立体的に、現場での避難所運営や避難のシミュレーションをゲーム感覚で行いました。今回「全国高校生地域防災Summit」でその実践を紹介します。全国の高校生と議論し「高校生が地域に対し何ができるか」という命題に迫りたいと思います。

SB 25 消防団員募集中!! ~地域防災力の向上のために~

地域・共助 防災行政

■総務省 消防庁

地域防災力の中核となる消防団の活動を紹介します。女性や若者をはじめ国民の幅広い層に加入を呼びかけます。また、防災の知識や災害時の危機管理についてeラーニングにより学習できる「防災・危機管理e-カレッジ」での学習体験を行いますので、皆さんで地域の防災について考えましょう。

SB 22 大地の恵みを知り、地元を愛し、怖がらせない防災

地震・火山 風水害 教育

■日本ジオパークネットワーク

ジオパークは、地球科学的価値のある地質遺産を大切にし、教育や防災だけでなく、科学的根拠を持って観光にも活用し、地域の持続可能性を高める活動を行っています。絶景はたいてい過去の激しい自然現象の痕跡。時に災いをもたらす大地の恵みが人々の日常には恩恵をもたらします。「危ない、怖い」だけの防災では、地元を嫌いにしたり観光客も来ません。ジオパークの活動をもとに、地域防災活動に役立つ事例を共有します。

SB 24 学校防災・地域防災の活動

地震・火山 防災計画 教育

■防災減災アドバイザー 学校防災・地域防災 YY防災ネット

防災の経験と体験を全国へ。平成18年から23年まで地域防災リーグの経験と実績・3・11の東日本大震災では避難所責任者として小学生・中学生・高校生と様々な役割を。学校防災と地域防災の経験と実績を全国の方々にお伝えし、今後の防災に協力をしていきたいとの、思いからYY防災ネットを立ち上げ防災応援プロジェクトを開始し、全国の自治会・町内会・小学校・中学校・高校へ講演・防災授業など、様々な活動を行っています。

SB 26 消防防災における研究開発の推進に向けた取り組み

科学・技術 救急・救助 防災行政

■消防研究センター

消防研究センターは、昭和23年に設置された消防研究所の伝統と成果を引き継いだ、わが国唯一の消防防災に関する総合的研究機関です。消防研究所創設時の目的である、現場の消防職員の活動を科学技術の面から支えて、社会の安心と安全の要請に応えることを、基本的な使命としています。また、研究成果が消防機関に活用されることはもちろん、消防・防災技術の普及・振興活動、さまざまな対外活動に力を注いでいます。

**SB 02 色んな視点で考えよう!復興における男女共同参画**

ジェンダー・多様性

■復興庁男女共同参画班

「たけん、はっけん、ほっとけん!」ほっさいこくたいの会場を大いにたんけんし、このブースに立ち寄ってくれた「たんけんシート」をお配りします。そこで体験したこと、まなぶことをチェックしてきて、あとで教えてください。いっしょにふりがえりましょう。参加してくれた人には記念品もありますよ。

**SB 06 ぼうさいこくたい 会場たんけん**

自助 地域・共助 教育

■公益社団法人 全国子ども会連合会

本年6月、大阪府北部地震(震度6弱)は大都市の朝の通勤を直撃しました。このため私鉄ローカル線では列車36本が駅と駅の間で緊急停止し、運転再開の判断が遅れたことから、乗客数万人が最寄駅まで線路上を歩いて移動しました。女性が普段履いているファッション重視のパンツやハイヒール・ミュールサンダルで線路上を歩くのは危険であり、女性だけが「災害弱者」となる可能性があります。

**SB 10 防災減災健康ビジネスシューズ 男女共同参画やLGBTに配慮した多機能型ビジネスシューズ**

地震・火山 風水害 ジェンダー・多様性

■一般社団法人 防災減災健康普及協会(DPDP)

最近、御岳山や草津白根山、ハワイのキラウエア火山など、国内外で噴火が相次いでいます。首都圏でも富士山などの関東周辺の火山が大噴火を起こすと大きな影響を受けるので、事前に火山噴火の特徴をよく理解して、しっかりと備えをしておくことが大切です。本展示では、火山噴火が引き起こす災害についてのポスターやパンフレットを掲示して、子供達にも分かりやすく説明します。

**SB 14 火山災害をよく知って、しっかり備えよう**

地震・火山 科学・技術 教育

■特定非営利活動法人 日本火山学会

日本火山学会は、全国の14地方協会及び地方の企業を会員とした連合会であり、国有林野地域の林業土木事業(治山、林道及び災害復旧等)を実施することを通じて、国土及び地球環境の保全並びに林業土木事業の発展に寄与する活動を行うと共に、各種の防災活動の推進にも努めています。具体的には、防災ボランティア協定に基づく災害調査、迅速な被災地への支援、ボランティアによる自主的な社会貢献活動などが挙げられています。

**SB 18 地理空間情報を活用して大規模災害に備えよう**

地震・火山 風水害 防災行政

■国土交通省 国土地理院

国土地理院は災害対策基本法に基づく指定行政機関に指定されており、災害の被害状況を迅速に把握し、関係機関や国民に情報提供する役割を担っています。今回の展示では、災害時の緊急観測をはじめ、陸域観測技術衛星(だいち2号)や国土地理院で運用する電子基準点を活用した地殻変動の監視など国土地理院の防災活動についての紹介や、国土地理院が提供する防災に役立つ地理空間情報の活用について紹介します。

**SP 02 日本災害医学会が主催する 災害医療研修および日本DMATについて**

医療・福祉 救急・救助

■一般社団法人 日本災害医学会

日本災害医学会における災害医療対策に関する知見を紹介します。特に、災害医療派遣チーム(DMAT)の活動、本学会が主催する災害医療に関連した研修コース、学会から派遣する災害医療チームの紹介を行います。今後発生する確率が高いと言われる、南海トラフ地震、首都直下型地震等への対応のため、日々研修・訓練を行っています。さらに、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けた取り組み等の紹介を行います。

**SP 06 和歌山県の防災対策と「稲むらの火」**

地震・火山 防災行政

■和歌山県

和歌山県では、「災害による犠牲者ゼロ」を実現するために、様々な防災・減災対策を実施しています。具体的には、緊急避難先安全レベルの設定、防災ポータルアプリ「和歌山県防災ナビ」の配信、体験学習を通じた防災啓発事業「出張減災教室」などのソフト対策と「津波から逃げる」支援対策プログラム」に基づく、避難路や避難施設、堤防の整備などのハード整備の両面に対策を進めています。

**SP 10 災害医療と医師会**

地域・共助 医療・福祉 被災者支援

■公益社団法人 日本医師会

我が国の大規模災害では、多職種連携による災害医療が不可欠です。平時から、災害医療に関する教育・研修体制や、かかりつけ医機能を中心とした地域の関係者間の連携が構築されていれば、災害時でも被災者の生命・健康を守ることに繋がります。そうした「災害への備え」に向けた取組こそがソフトパワーによる最大の災害対策と言えます。医師の団体である医師会による取組のご紹介や、地域連携の重要性をご説明します。

**SB 03 災害時のマンション生活を考える**

防災計画 自助 地域・共助

■一般社団法人マンションライフ継続支援協会(MALCA)

管理組合等とのマンション関係者を対象に、マンションの防災力強化・向上について啓発し、首都直下地震や南海トラフ大地震等への対策強化を促進する為、マンション防災の普及啓発パネル展示及びマンション室内の安全対策パネル展示、マンション防災の普及啓発パンフレットの配布等を行う。

**SB 07 災害から身を守るための様々な防災気象情報**

災害情報 地域・共助 教育

■気象庁

気象庁では、気象、地震、火山等に関する様々な防災気象情報を発表しています。平成30年6月5日には新しいスーパーコンピュータの運用を開始し、6月20日午時以降は短時間予報の予報時間をこれまでの6時間先から15時間先まで予測できるようにしました。このような最新の防災気象情報と、その活用について管理いたします。

**SB 11 「地域における防災教育の実践」**

地震・火山 防災計画 教育

■一般社団法人 防災教育普及協会

宮城県と仙台市では、東日本大震災の経験と教訓を踏まえ、県内の各団体が提供している多様な防災学習コンテンツを収集・整理し防災観光ツールを整備するとともに、国内外に向けて防災観光プログラムを発信する取り組み「インパウンド向け防災観光推進事業」を実施しています。本展示では、「防災+観光 BOSAH-Tourism」のウェブサイトに掲載しているコンテンツ等をご紹介します。

**SB 15 「インパウンド向け防災観光推進事業」における取組み**

防災計画 教育 国際

■宮城県・仙台市

宮城県と仙台市では、東日本大震災の経験と教訓を踏まえ、県内の各団体が提供している多様な防災学習コンテンツを収集・整理し防災観光ツールを整備するとともに、国内外に向けて防災観光プログラムを発信する取り組み「インパウンド向け防災観光推進事業」を実施しています。本展示では、「防災+観光 BOSAH-Tourism」のウェブサイトに掲載しているコンテンツ等をご紹介します。

**SB 19 最新型コンパクトマッサージャー 「エスコート・H」**

医療・福祉

■株式会社バルムシー

最新型コンパクトマッサージャー「エスコート・H」の体験ブースです。全身の血行促進、フットケア、むくみ予防・運動不足の解消など幅広くお使いいただけます。会期中はどなたでも無料でお試しいただけます。ぜひお気軽に当社ブースへお立ち寄り下さい。

**SP 03 防災活動を進める林土連!**

風水害 ボランティア 復旧・復興

■(一社)日本林業土木連合協会

林土連は、全国の14地方協会及び地方の企業を会員とした連合会であり、国有林野地域の林業土木事業(治山、林道及び災害復旧等)を実施することを通じて、国土及び地球環境の保全並びに林業土木事業の発展に寄与する活動を行うと共に、各種の防災活動の推進にも努めています。具体的には、防災ボランティア協定に基づく災害調査、迅速な被災地への支援、ボランティアによる自主的な社会貢献活動などが挙げられています。

**SP 07 グローバル・モニタリング・システムの構築による 安全・安心な社会への貢献**

科学・技術 災害情報

■東海大学 グローバルモニタリングプロジェクト

東海大学では平成28年度より、文部科学省私立大学研究ブランディング事業に選定された「災害・環境変動監視を目的としたグローバル・モニタリング・システムの構築による安全・安心な社会への貢献」というテーマのもと、安全・安心に関わる活動に取り組んでいます。本展示では、本取組の一環で開発・運用を進めている「ツイッター」を利用した災害情報共有システム「ツイッターを利用した安否確認システム」を紹介いたします。

**SP 11 「東北太平洋沿岸等における 観光復興対策事業」における取組み**

教育 復旧・復興 国際

■青森県、岩手県、宮城県、福島県、仙台市及び東北観光推進機構

青森県、岩手県、宮城県、福島県、仙台市及び東北観光推進機構が、東日本大震災からの復興状況や防災の取組、観光の魅力等を発信し、東北太平洋沿岸地域の観光復興を目的として、外国人観光客の受入態勢整備やプロモーション、風評被害払拭に向けた調査や発信、震災の経験と教訓を語り継ぐ語り部ガイドの広域連携の推進等に取組んでいる「東北太平洋沿岸等における観光復興対策事業」についてご紹介します。

**SB 04 防災減災の取組**

地震・火山 防災計画 教育

■宮城県多賀城高等学校

全国で2科目、理系学科としては全国初となる防災系専門学科「災害科学科」を開校し、様々な防災減災活動に取り組んでいます。防災減災のパイロットスクールとして、震災の記憶の伝承と災害への備えを探究するとともに、様々な方々と交流活動を行っています。

**SB 08 緊急地震速報アプリ「ゆれくるコール」**

地震・火山 災害情報 教育

■アールシーソリューション株式会社

ゆれくるコールは緊急地震速報をお知らせするスマートフォンアプリです。地震の発生を通知する以外にも、様々な機能があります。①ゆれくるコールをカウントダウンでお知らせ! ②地震の詳細をアプリですぐに確認! ③体感したゆれを「ゆれ体感」で共有 ④地震後は安否確認で家族の安否を確認 ⑤「+」で防災知識もバッチリ身につく

**SB 12 阪神・淡路大震災の経験と教訓を伝える 災害ミュージアム**

地震・火山 風水害 教育

■阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センターは、1995年1月17日に起きた阪神・淡路大震災の経験と教訓を後世と世界に伝えるために開設された災害ミュージアムです。阪神・淡路大震災の記録をパネル等で展示し、実際に起きた災害を知っていただくことから、今後起こりうる災害への備えを促します。

**SB 16 消防団を中核とした地域防災力の 充実強化のための消防基金の取組について**

地震・火山 風水害 地域・共助

■消防団員等公務災害補償等共済基金(消防基金)

消防団員等公務災害補償等共済基金(消防基金)は、市町村に対して消防団員の損害補償や退職報酬金支給に要する経費を支払うほか、市町村に代わって被災団員やその遺族の福祉に必要な事業を行うとともに、自ら消防団員の公務災害防止のための事業を行っています。消防基金は、これらの事業を行うことで、消防団員が安心・安全に活動できる環境づくりをサポートし、消防団を中核とした地域防災力の充実強化に取り組んでいます。

**SB 20 連合災害救援ボランティア 活動の軌跡**

ボランティア 復旧・復興

■日本労働組合総連合会(連合)

連合は49の産業別組合と47都道府県の地方連合会からなる、約700万人の組合員を有する日本最大の労働組合の組織です。災害時には東日本大震災など、過去の災害の教訓から速やかに情報収集を行い、現地の諸団体と連携しながらボランティアを派遣するなど、復旧に向けた活動に貢献してきました。震災後は風化させない取り組みとして震災関連をテーマとする「絆フォーラム」を定期的に開催しています。

**SP 04 災害時の食料はどうする?**

自助

■農林水産省

地震等の大規模災害時には、一時的に食料が手に入らなくなる可能性があり、家庭で最低でも3日分、できれば1週間分程度の備蓄に日頃から取り組むことが重要です。期間中は、家庭での食料品備蓄のポイントや備蓄に適した食品に関するポスターの展示や「緊急時に備えた家庭用食料品備蓄ガイド」等の配布などを行います。あわせて、農林水産省が行う災害対策、食料支援の取組みのポスター展示や資料配付を行います。

**SP 08 防災環境都市・仙台**

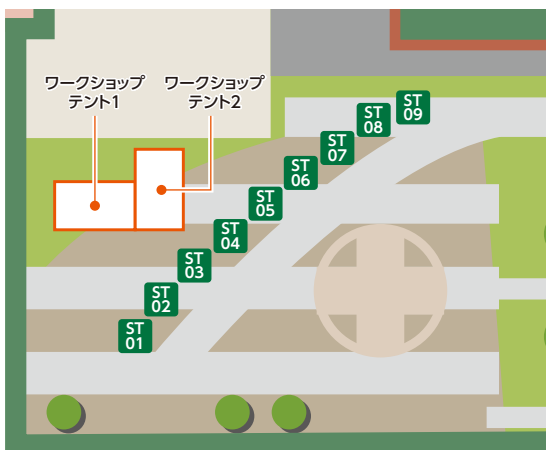
復旧・復興 防災行政

■防災環境都市・仙台(仙台市)

東日本大震災の経験と教訓を踏まえ、将来の災害や気候変動リスクなどの脅威にも備える、しなやかに強靱な「防災環境都市づくり」を仙台市では進めています。「社都・仙台」の豊かな環境を基本としながら、インフラやエネルギー供給の防災性を高める「まちづくり」、地域で防災を支える「ひとづくり」を推進し、市民生活や経済活動の安全・安心や快適性を高い水準で保つための取り組みをご参加の皆様にも幅広くご紹介します。



エントランス



出展車両

ステージイベント (東京都防災展)



Dr.ナダレンジャーの  
防災科学実験ショー

Dr.ナダレンジャーが、様々な  
自然災害の現象をわかりやすく、  
楽しく解説!



防災忍者なりきり体験

忍者服を着て、防災のヒントを  
学ぶ修行にチャレンジ!  
※各回開始15分前よりインフォメーションにて整理券配布

実施日時:  
13日(土)①12:00~②13:30~  
14日(日)①12:00~②13:45~




<p><b>ST 01 防災・救命シェルターCL-HIKARI</b></p> <p>地震・火山 風水害 自助</p> <p>■株式会社光レジン工業</p> <p>FRP加工、強化プラスチック加工、カーボン加工及びガラス繊維のバイオニアとして受注品の製造を行うとともに弊社独自製品として防災・救命シェルターCL-HIKARIを開発・製造・販売及び設置しております。公助による防災対策が整備される中において、避難完了時間内に避難を完了できない方々の「最後の砦」として防災・救命シェルターCL-HIKARIを提供しております。</p>	<p><b>ST 02 災害に強い浄化槽システム</b></p> <p>インフラ 環境・持続可能性 復旧・復興</p> <p>■一般社団法人 浄化槽システム協会</p> <p>浄化槽製造メーカーを主たる会員とし、浄化槽に関する普及啓発、技術開発及び技術支援活動を行っている非営利型の一般社団法人です。(防災への主な取り組み紹介)・災害発生時における被災浄化槽の応急対応や復興に向けての技術支援・応急仮設住宅向け浄化槽の供給体制の確保・応急仮設住宅向け浄化槽の設計・施工・維持管理等についての情報提供</p>	<p><b>ST 03 障害者・福祉職員の震災復興パネル展 [3.11ソレカラ]</b></p> <p>地域・共助 医療・福祉 復旧・復興</p> <p>■一般社団法人 助けあいジャパン 静岡県富士市</p> <p>当法人は宮城県にある障害者就労支援事業所で働く障害者の工賃向上を目的として設立された団体です。活動の一環として宮城県から「障害者震災記憶風化防止活動支援事業」を受託しています。具体的な活動内容としては、障害者および福祉職員への聞き取り等による震災の体験や記憶等を記録化し、ホームページやパネル展示等により県内外に発信することを通して、防災意識を高めるための取り組みを行っています。</p>
<p><b>ST 04 今日からはじめる地震対策 「みんなので取り組む室内安全の自助・共助」</b></p> <p>地震・火山 自助 教育</p> <p>■一般社団法人危機管理教育研究所</p> <p>①実演小型振動台を用いた、すぐ取り組める室内被害軽減対策の実演・自宅にある備品を用いた書籍の落下を軽減する対策方法の紹介・特別な器具を使わずにキャスター付き家具の移動・転倒を軽減する対策方法の紹介②展示・パワーグライダーで撮影した被災地の空撮画像・家庭・園・企業での備蓄を推奨するための防災グッズ・防災書籍③配布・家庭・企業に向けた防災普及啓発のためのパンフレットの配布</p>	<p><b>ST 05 災害対策関連サービスの展示・体験</b></p> <p>地震・火山 風水害 被災者支援</p> <p>■KDDI株式会社</p> <p>災害時に安心確認を行うための「災害用伝言板サービス」や避難所支援としての「充電サービス」、「無料Wi-Fiサービス」等の展示を行います。更に、小型の携帯電話基地局を搭載した、ドローン基地局の展示を行います。この基地局は、上空から一時的な携帯電話サービスの提供が可能で、携帯電話から電波を補足することでエリア内の端末数を確認できる機能も備えており、災害時の捜索救助活動への効果が期待されています。</p>	<p><b>ST 06 災害が起きた時に・・・私ができること、地域でできること</b></p> <p>自助 地域・共助 ボランティア</p> <p>■日本赤十字社</p> <p>災害からのちを守るためには、けがの手当ての方法を学んでおくとともに、自分が住む地域の特徴をよく理解し、その地域にお住まいの方々でどのように協力して行動するかなどを、普段から考えておくことがとても重要です。このテントブースでは、防災・減災に関する知識・意識・技術の向上に役立つ体験型プログラムをご用意し、皆様のご来場をお待ちしております。</p>
<p><b>ST 07 備蓄型組立式個室トイレ「ほぼ紙トイレ」</b></p> <p>防災計画 地域・共助 被災者支援</p> <p>■株式会社カワハラ技研</p> <p>毎年のように発生している災害、その度直面するのが「トイレ問題」です。7割の自治体で「災害用トイレの備えは、想定避難者数に対し不足」という調査結果も(日本トイレ研究所)。今こそ市民が一体となって取り組むことが必要と考え、阪神淡路大震災、熊本地震の支援者からの要望で、今ある災害用トイレの役割をカバーできる、インフラがダメになっても直後直ぐに使える備蓄型組立式仮設トイレ「ほぼ紙トイレ」を商品化しました。</p>	<p><b>ST 08 災害用水洗トイレシステム 「iDotec Toilet(イドテック・トイレ)」</b></p> <p>地震・火山 地域・共助 被災者支援</p> <p>■大樹環境システム株式会社</p> <p>阪神大震災、新潟中越地震、東日本大震災そして熊本地震と、せっかく助かった命もその後の避難所生活の中で、トイレが使えない、あまりにも汚くて使いたくない等でトイレを我慢し、水分を取らない、動かないことなどに多い多くの方がおこりになっていきます。「災害用水洗トイレシステムiDotec Toilet(イドテック・トイレ)」は、避難時にも通常とほぼ変わらない綺麗な清潔・安心なトイレ環境をご提供します。</p>	<p><b>ST 09 熊本地震への対応検証と復旧・復興の状況</b></p> <p>地震・火山 復旧・復興 防災行政</p> <p>■熊本県</p> <p>平成28年熊本地震において、全国各地から多大なる御支援をいただき、感謝申し上げます。熊本県では、熊本地震への対応に関する検証を実施するとともに、得られた教訓を全国で共有し、今後の大きな災害に備えるため、熊本地震デジタルアーカイブサイトによる情報発信を行っています。今大会では、ドローンによる空撮映像の放映や写真パネルの展示を行い、熊本地震による被害の実状や復旧・復興の様子についてお知らせします。</p>

<p><b>SO 01 消防車大集合!~VR防災体験車で最新の防災体験をしてみませんか?~</b></p> <p>救急・救助 防災行政</p> <p>■東京消防庁(全国消防長会)</p> <p>各種消防車両を展示するほか、はしご車の体験搭乗や最新のVR防災体験車による防災体験など、大人から子どもでも楽しみながら防災について学ぶ展示内容となっています。車両展示のほかに音楽隊・カラーガード隊による演奏・演技も実施する予定です。防災体験に合わせて、是非楽しんでみてください。</p>	<p><b>SO 02 地震体験(3次元起震装置搭載地震体験車)</b></p> <p>教育 防災産業</p> <p>■飛鳥特装株式会社</p> <p>過去の大地震、そして今後予測される地震、それらの揺れを経験し、万全の備えを。飛鳥特装の地震体験車は、様々な地震動を再現し、過去に発生した大地震はもちろん、未来予測されている地震動、震度段階に合わせた揺れも再現し、地震に備える心構えを身につけて頂くに最適です。</p>	<p><b>SO 03 みんな元気になるトイレ(災害派遣トイレネットワークプロジェクト)</b></p> <p>防災計画 地域・共助 被災者支援</p> <p>■一般社団法人 助けあいジャパン 静岡県富士市</p> <p>全国の1,741市区町村が1台ずつトイレトレーラーを常備し、自然災害が起きた地域にすぐに駆けつけることができたなら、トイレ不足を大きく軽減することができると。東日本大震災、熊本地震で災害支援情報を発信してきた助けあいジャパンが推進する「災害派遣トイレネットワークプロジェクト みんな元気になるトイレ」は、助けあいのネットワークをつくり、災害大国ニッポンの強靱化を進めていきます。</p>						
<p><b>SO 04 薬剤師会 モバイルファーマシー展示</b></p> <p>地域・共助 医療・福祉 被災者支援</p> <p>■公益社団法人 日本薬剤師会</p> <p>モバイルファーマシーはキャンピングカー等を改造した、薬局機能を搭載した災害対策医薬品供給車両であり、電力や水の途絶えた被災地の医療救護所等で自主的に調剤業務と医薬品の供給を行うことができます。災害発生時に被災地で活動するモバイルファーマシーを是非、ご覧下さい。</p>	<p><b>SO 05 車載型基地局の展示</b></p> <p>地震・火山 風水害 被災者支援</p> <p>■KDDI株式会社</p> <p>KDDIでは、災害対応を行う車両として、災害等で無線基地局や通信回線が損傷を受けた場合に被災地へ移動して、非常用の携帯電話基地局としてサービスを提供する車載型基地局を保有しています。さらに長時間の停電に備え、無線基地局に電気を供給する移動電源車を保有しています。今回はこれらの車両の中から携帯電話基地局の代替となる車載型基地局の展示を行います。</p>	<p><b>東京都防災展 車両展示</b></p> <table border="1"> <tr> <td>01 ポータブル衛星車</td> <td>■(株)NTT東日本</td> </tr> <tr> <td>02 機動車とオートバイ</td> <td>■自衛隊東京地方協力本部 江東出張所</td> </tr> <tr> <td>03 レスキュー車</td> <td>■警視庁</td> </tr> </table>	01 ポータブル衛星車	■(株)NTT東日本	02 機動車とオートバイ	■自衛隊東京地方協力本部 江東出張所	03 レスキュー車	■警視庁
01 ポータブル衛星車	■(株)NTT東日本							
02 機動車とオートバイ	■自衛隊東京地方協力本部 江東出張所							
03 レスキュー車	■警視庁							

<p><b>フードコート</b></p> <p><b>BUGRA</b> ケバブ・ロングポテト etc.</p> 	<p><b>アジアントワン</b> ガパオライス・グリーンカレー etc.</p> 
<p><b>ミッキーフードサービス</b> ソフトアイス・肉巻きおにぎり etc.</p> 	<p><b>ヴェルデ ウルバノ</b> チーズバーガー・パステウ etc.</p> 

**復興応援グルメ** (東京都防災展)

東日本大震災などの被災地の郷土料理を提供



みんなで学べる防災イベント

ぼう さい てん  
**防災展**

**2018**  
**会場マップ**

**体感型防災アトラクション**

緊迫した状況の中で様々なミッションに挑戦！  
脱出ゲームの要素を取り入れた訓練を体験して、  
災害時に役立つ知識を学ぼう。

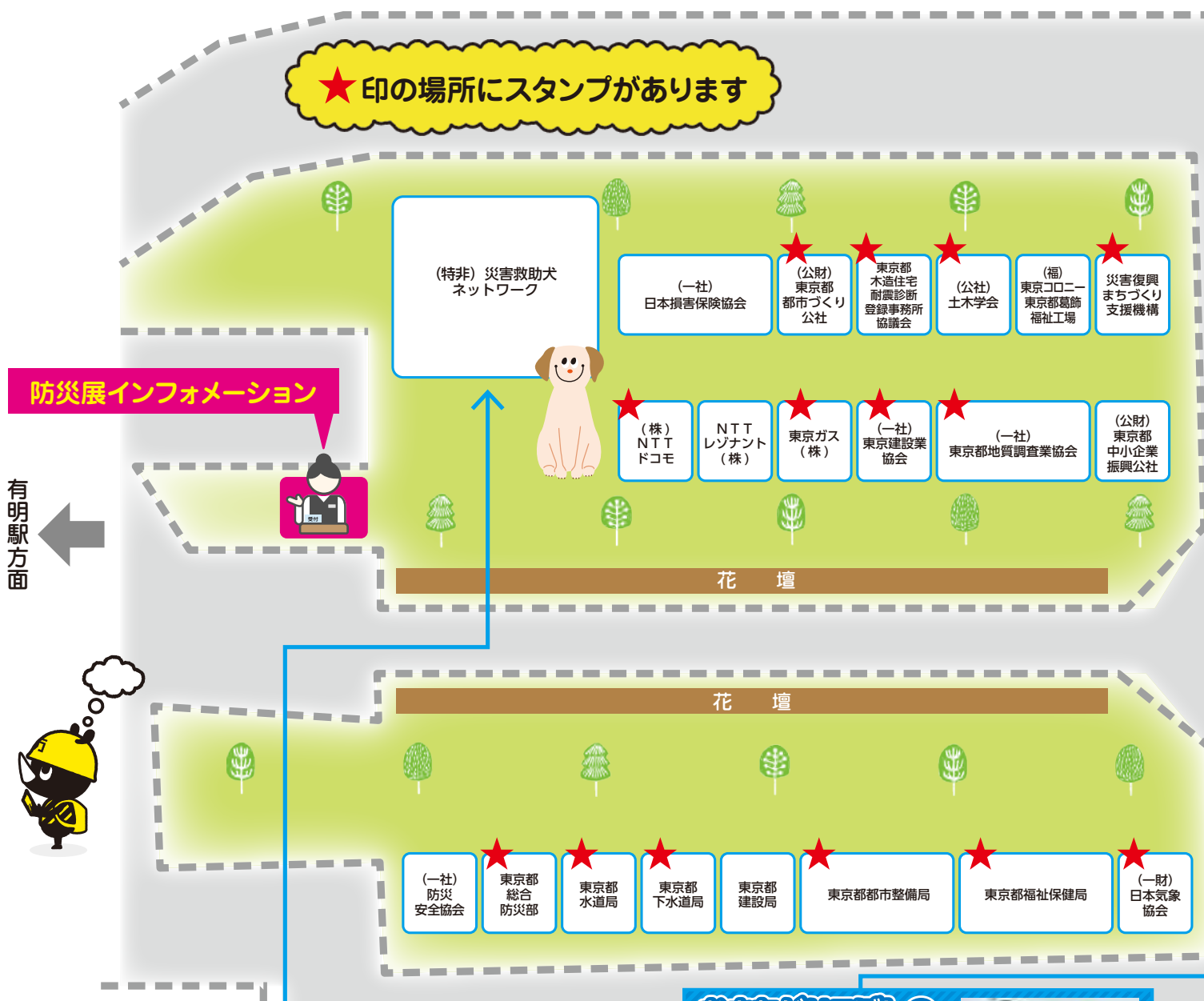


実施日時:14日(日)

①10:30~②12:00~③13:30~④14:55~

\*事前予約をされた方から優先的にご案内いたします。  
\*当日に参加をご希望される場合は、各回15分前までに、  
インフォメーションでお申込みください(先着順)。

★印の場所にスタンプがあります



**災害救助犬訓練実演**

実施時間

13日(土)	14日(日)
①10:00~②11:30~	①10:00~②11:30~
③13:00~④14:30~	③13:20~④15:10~



**おきあがりこぼしの  
絵付け体験をしよう!**

福島県会津地方の縁起物である  
起き上がり小法師に絵付けできます。



**各日先着100名**

※アトラクションやワークショップは、全て参加無料です。



- (株) NTT 東日本
- 警視庁
- 自衛隊 東京地方協力本部 江東出張所

### 東京消防庁音楽隊 カラーガーズ

実施日時: 13日(土)10:30~



### 復興応援グルメ

被災地特産の  
おいしいものを食べながら  
復興を応援しよう!

ぼくたちにもぜひ会いに来てね! /

(特非) クライシズ マッパーズ・ジャパン	★ 岩手県	★ 福島県	★ 宮城県	★ 熊本県	★ 愛媛県	ツクモル
-----------------------	-------	-------	-------	-------	-------	------



防災展インフォメーションで  
スタンプラリー、アンケート配布中

### 参加者には オリジナルグッズを プレゼント

\*オリジナルグッズは  
無くなり次第  
終了となります。

### いざというときに役立つグッズを作ろう!

各先着150名

13日(土)	お守り袋をデコレーションしよう
14日(日)	シールを貼ってオリジナルホイッスルを作ろう





# みんなで学べる防災イベント

ぼう さい てん

# 防災展

# 2018

—もしもにそなえて—



**入場無料**

**10月13日(土)・14日(日)**

**時間** 10:00~16:00

**会場** 国営東京臨海広域防災公園



10/13(土)

10/14(日)

※天候等により中止になるプログラムがあります。

	ステージ	テントエリア	フードエリア奥		ステージ	テントエリア	そなエリア 本部棟
10:00	10:00~10:15 オープニング	10:00~ 災害救助犬訓練 実演			10:00~10:15 オープニング	10:00~ 災害救助犬訓練 実演	10:15~10:30 アトラクション①受付
			10:30~11:00 東京消防庁 音楽隊カラーガース		10:15~10:45 防災アーティストによる演奏		10:30~11:35 体感型防災 アトラクション① ※事前申込優先
11:00	11:00~11:40 可愛いキャラクターが ステージに登場!		さわやかな演技で、 皆さまに防火防災を 呼びかけます!		11:00~11:40 Dr.ナダレンジャーの 防災科学実験ショー①	11:30~ 災害救助犬訓練 実演	11:45~12:00 アトラクション②受付
		11:30~ 災害救助犬訓練 実演			12:00~12:30 防災忍者なりきり体験①		12:00~13:05 体感型防災 アトラクション② ※事前申込優先
12:00	12:00~12:30 防災忍者なりきり体験①	地震などで行方不明になった人々を 優れた嗅覚を使って見つけ出すよ。 実際の災害救助犬の活動を見てみよう!			12:30~13:00 気象現象と災害のアニメ上映		12:00~13:05 体感型防災 アトラクション② ※事前申込優先
					12:40~13:20 Dr.ナダレンジャーの 防災科学実験ショー②		13:15~13:30 アトラクション③受付
13:00	13:00~13:10 可愛いキャラクターがステージに登場!	13:00~ 災害救助犬訓練 実演			13:00~ 災害救助犬訓練 実演		13:30~14:35 体感型防災 アトラクション③ ※事前申込優先
		13:30~14:00 防災忍者なりきり体験②	忍服を着て、防災のヒントを 学ぶ修行にチャレンジ! ※各回開始15分前よりインフォメーションにて整理券配布		13:45~14:15 防災忍者なりきり体験②		14:40~14:55 アトラクション④受付
14:00	14:00~14:30 気象現象と災害のアニメ上映				14:30~15:10 Dr.ナダレンジャーの 防災科学実験ショー③	13:20~ 災害救助犬訓練 実演	14:55~16:00 体感型防災 アトラクション④ ※事前申込優先
		14:30~ 災害救助犬訓練 実演			15:10~15:20 気象現象と災害のアニメ上映		
15:00	主人公の節子ちゃんと一緒に 気象現象と災害について学んでみよう!				15:30~16:00 防災アーティストによる演奏	15:10~ 災害救助犬訓練 実演	
16:00							

主催: 39 東京都